

令和元年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果等の概要について(県内公立学校)

このことについて、別紙のとおり、滋賀県の状況をとりとまとめましたので、お知らせいたします。

記

1 調査の趣旨

児童生徒の問題行動・不登校等について県内状況を調査・分析することにより、今後の指導の充実に資する。

2 調査対象

公立小学校(221校)、公立中学校(99校)、義務教育学校(1校)、県立高等学校(全日制・定時制併置校を含む全日制44校、定時制・通信制併置校を含む定時制2校、計46校)、県立特別支援学校(15校)

※各調査項目における小・中学校の学校総数…小学校は、義務教育学校前期課程を含めて222校、中学校は後期課程を含めて100校になる。

※いじめの状況調査における高等学校の学校総数…全日制・定時制・通信制併置校は、全日制、定時制、通信制それぞれ1校として別々に計上し、その合計数となるため合計51校となる。

3 調査期間

平成31年4月1日～令和2年3月31日

4 調査・集計方法

公立小・中学校、義務教育学校においては、各校で調査したものを市町教育委員会が取りまとめ、県教育委員会に提出する。県立高等学校、県立中学校および県立特別支援学校においては、県教育委員会に提出する。県教育委員会は提出された調査票をもとに集計する。

5 主な調査項目

- | | |
|---|-----|
| (1) 公立小学校、公立中学校および県立高等学校における暴力行為の状況 | P 3 |
| (2) 公立小学校、公立中学校、県立高等学校および県立特別支援学校におけるいじめの状況 | P 5 |
| (3) 公立小学校、公立中学校および県立高等学校における長期欠席の状況等 | P 7 |
| (4) 県立高等学校における中途退学者数等の状況(全日制) | P 9 |

※(1)～(3)の調査項目において、義務教育学校の前期課程は小学校に、後期課程は中学校に含んでいる。

6 調査結果のポイント

- (1) 暴力行為の総発生件数は、前年度より 106 件増加し 936 件となった。全国的に小学校における暴力行為が大幅に増加しており、本県における小学校の暴力行為の発生件数は前年度から 21 件増加し、472 件（過去最多）となった。小学校の 1000 人あたりの発生件数は本県 5.8 件で、全国の 6.8 件を下回っている。増加の背景には、重大な事案になる前に些細な暴力行為に対しても組織的に対応をしている側面があると考えられる。
- (2) いじめの総認知件数は、7,797 件（過去最多）となった。いじめを認知した学校数は、375 校(96.6%)となり、全国の 82.6%を大きく上回った。認知件数・認知校数の増加は、重大な事態になることを防ぐためできるだけ初期段階からいじめを見逃さず、積極的に認知を行い対応している結果と捉えている。
- (3) 公立小学校における長期欠席者数のうち、不登校児童数は、734 人（過去最多）となり、在籍率は 0.90%（過去最高）である。公立中学校における長期欠席者数のうち、不登校生徒数は、1,335 人となり、在籍率は 3.43%（過去最高）であり、憂慮すべき状況である。その背景として、児童生徒の休養の必要性を明示した「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」の趣旨の浸透の側面も考えられる。
- (4) 県立高等学校（全日制）における中途退学者数は、214 人、中途退学率は 0.72 %である。過去 5 年間の傾向として、中途退学率はほぼ横ばいの状況である。

7 県教育委員会の対策

- ・暴力やいじめの未然防止のため、児童生徒の発達段階に応じ相手の思いや意図を「読み解く力」の育成を通して、コミュニケーション能力の向上を図る。
- ・個々の児童生徒の状況に応じた適切な支援のため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門家を有効活用し、組織的に対応するとともに、教員の資質向上を図る。
- ・課題のある児童生徒に対して教員がしっかりと向き合うことで、本人の特徴や発達の状況、家庭環境を把握し、個別の指導や支援を図るとともに、関係機関との適切な連携を図る。
- ・滋賀県いじめ防止基本方針に基づき、各校で学校いじめ防止基本方針が実情に即して機能しているかについて、点検したり見直したりするよう啓発するとともに、いじめを許さない学校づくりを推進し、児童生徒が主体となったいじめ防止に向けた取組を推進できるように支援する。
- ・不登校の未然防止のため、早期の段階から子どもの変容を見逃さず、丁寧な見立てを行うとともに、早めの校内ケース会議を開催し、児童生徒への適切な支援の実施を図る。
- ・教育と福祉の連携や県と市町の連携の強化を図り、児童生徒の社会的自立に向けた切れ目のない支援体制を整える。

令和元年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査 滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課

1. 公立小学校、公立中学校および県立高等学校における暴力行為の状況

(1) 暴力行為の総発生件数 〈表(1)〉

公立小・中学校および県立高等学校における暴力行為の総発生件数 936件
【平成30年度(830件)より106件増加】

(2) 学校種別の発生件数 〈表(2)〉

① 公立小学校

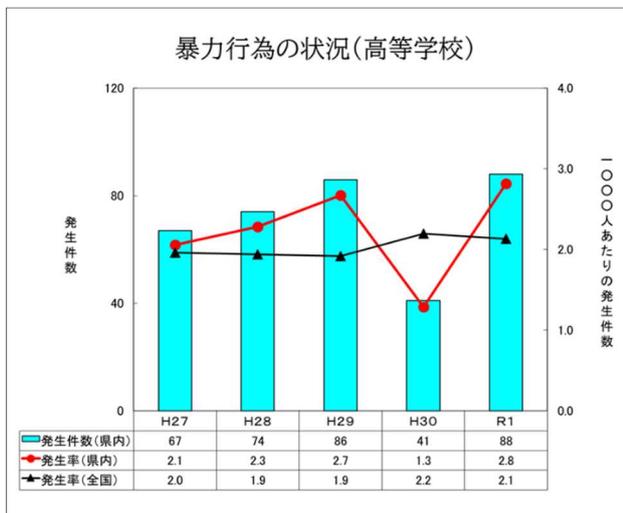
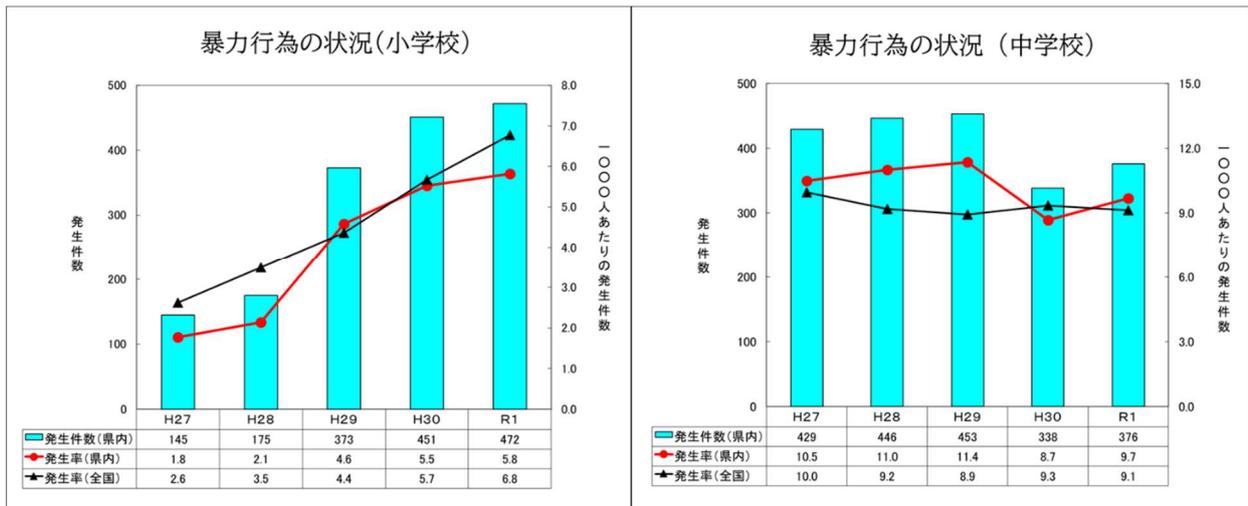
・総発生件数は 472件 【平成30年度(451件)より21件増加】

② 公立中学校

・総発生件数は 376件 【平成30年度(338件)より38件増加】

③ 県立高等学校

・総発生件数は 88件 【平成30年度(41件)より47件増加】



(3) 校種別・形態別の発生件数〈表(3)〉

(暴力行為の形態は「対教師暴力」「生徒間暴力」「対人暴力」「器物損壊」の四形態)

① 公立小学校

- ・「対教師暴力」 144件【平成30年度(131件)より13件増加】
- ・「生徒間暴力」 262件【平成30年度(239件)より23件増加】
- ・「対人暴力」 0件【平成30年度(3件)より3件減少】
- ・「器物損壊」 66件【平成30年度(78件)より12件減少】

② 公立中学校

- ・「対教師暴力」 84件【平成30年度(108件)より24件減少】
- ・「生徒間暴力」 195件【平成30年度(166件)より29件増加】
- ・「対人暴力」 9件【平成30年度(10件)より1件減少】
- ・「器物損壊」 88件【平成30年度(54件)より34件増加】

③ 県立高等学校

- ・「対教師暴力」 8件【平成30年度(5件)より3件増加】
- ・「生徒間暴力」 67件【平成30年度(23件)より44件増加】
- ・「対人暴力」 4件【平成30年度(3件)より1件増加】
- ・「器物損壊」 9件【平成30年度(10件)より1件減少】

※ 県内における具体的事例

○対教師暴力

- ・暴言や暴力行為を注意した担任に対して、暴力行為に及んだ。〈小学校〉
- ・授業妨害やエスケープの指導に対して腹を立て、教師や支援員に暴力をふるった。〈中学校〉

○生徒間暴力

- ・SNS上で悪口を書かれていると言いがかりをつけて暴力をふるった。〈小学校〉
- ・相手の言動に立腹し、衝動的に暴力をふるった。〈中学校〉
- ・仲の良い友人間で、コミュニケーションのつもりで上腕部を複数回叩いたところ、アザができた。〈高等学校〉

○対人暴力

- ・下校時、偶然出会った小学生に対して暴言を吐き、腹をたてて殴った。〈中学校〉

○器物損壊

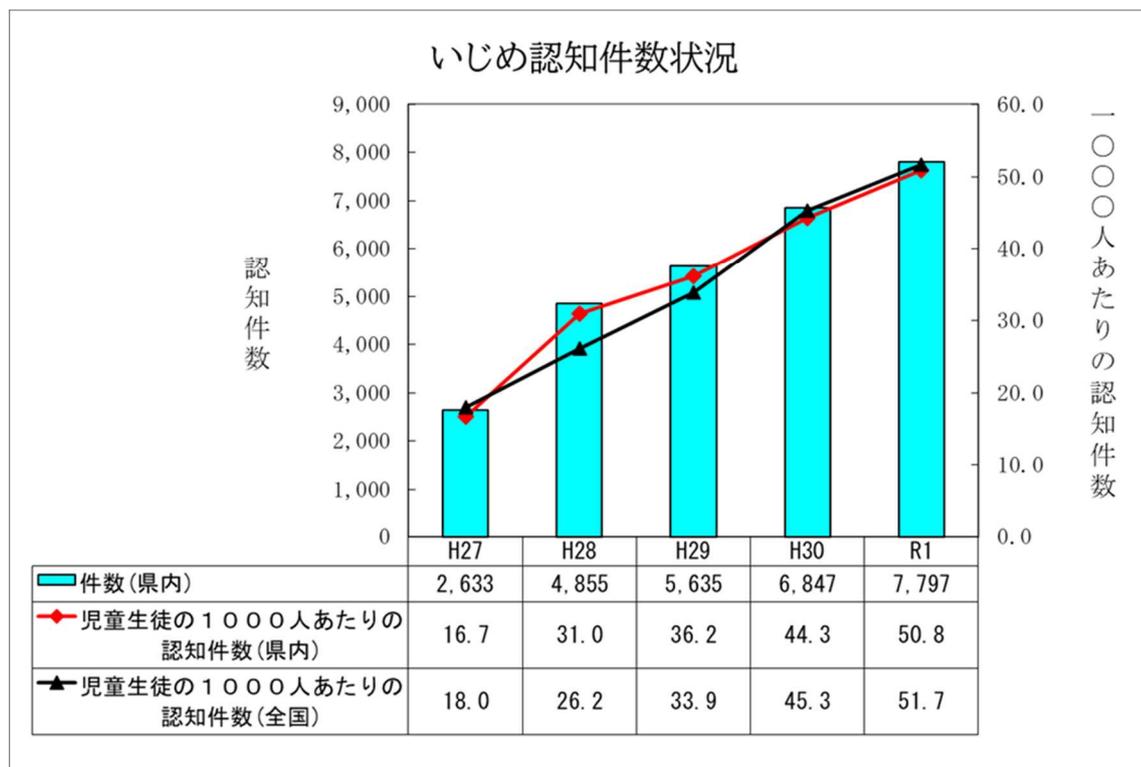
- ・教師からの指導されたことや自分の思い通りにならず、ドアを蹴り破ったり、物を投げて壊したりした。〈中学校〉

2. 公立小学校、公立中学校、県立高等学校および県立特別支援学校におけるいじめの状況

(1) 県内公立学校いじめの認知件数（滋賀県）〈表(4)〉

公立小・中学校および県立学校のおいじめの総認知件数 7,797 件

【平成 30 年度（6,847 件）より 950 件増加】



(2) 校種別いじめの認知件数・いじめを認知した学校数〈表(5)〉

いじめの認知件数

- ① 公立小学校
 - ・ 認知件数 5,561 件 【平成 30 年度（4,966 件）より 595 件増加】
- ② 公立中学校
 - ・ 認知件数 1,988 件 【平成 30 年度（1,750 件）より 238 件増加】
- ③ 県立高等学校
 - ・ 認知件数 220 件 【平成 30 年度（117 件）より 103 件増加】
- ④ 県立特別支援学校
 - ・ 認知件数 28 件 【平成 30 年度（14 件）より 14 件増加】

いじめを認知した学校数（学校総数に対する割合）

公立小・中学校および県立学校のおいじめを認知した学校の割合は 96.6%

- ① 公立小学校
 - ・ 認知学校数 214 校（96.4%） 【平成 30 年度 212 校 95.5%】
- ② 公立中学校
 - ・ 認知学校数 99 校（99.0%） 【平成 30 年度 95 校 95.0%】
- ③ 県立高等学校
 - ・ 認知学校数 51 校（100.0%） 【平成 30 年度 45 校 88.2%】
- ④ 県立特別支援学校
 - ・ 認知学校数 11 校（73.3%） 【平成 30 年度 11 校 73.3%】

(3) いじめの態様〈表(6)〉

ア 小学校・中学校における多い態様

- ①冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ②軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。

イ 高等学校における多い態様

- ①冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ②パソコンや携帯電話で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる。

ウ 特別支援学校における多い態様

- ①冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ②ひどくぶつかられたりたたかれたり、蹴られたりする。
パソコンや携帯電話で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる。

※ 県内における具体的事例

《小学校》

- ・ゲームや遊びでのトラブルからいじめの被害にあった。
- ・軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれた。
- ・SNSにあげるぞと脅された。

《中学校》

- ・些細なことからいじめ被害にあった。
- ・複数の者から冗談・遊び感覚という認識で嫌なことを言われた。
- ・SNSで生徒を中傷したり、なりすましの被害にあった。

《高等学校》

- ・所持品を隠された。
- ・SNS上で誹謗中傷を書かれた。

《特別支援学校》

- ・授業中に悪口を書いたメモをまわされた。
- ・嫌なあだ名を付けられ、からかわれた。

令和元年度 滋賀県いじめ問題サミット

実施日 令和元年8月20日(火)
参加校・生徒 98校 100名の県内中学校代表生徒

決定したいじめ防止のための『滋賀県宣言』

- いじめに対する3つの心 ～強い心、優しい心、賢い心～
- 認め助け合おう みんなの個性
- SNSつくるもつかうも同じ”人”
～あなたには画面の奥が見えますか?～



3. 公立小学校、公立中学校および県立高等学校における長期欠席の状況等

(長期欠席は理由別に「病気」「経済的理由」「不登校」「その他」の4種類)

(1) 理由別長期欠席者数および不登校児童数(小学校)

① 公立小学校における長期欠席〈表(7)(3)〉

年間30日以上長期欠席者数 1,286人【平成30年度(1,175人)より111人増加】

② 長期欠席者のうち不登校児童数 734人【平成30年度(617人)より117人増加】

不登校児童の在籍率 0.90%【平成30年度(0.76%)より0.14ポイント増加】

(2) 理由別長期欠席者数および不登校生徒数(中学校)

① 公立中学校における長期欠席〈表(9)(10)〉

年間30日以上長期欠席者数 1,886人【平成30年度(1,872人)より14人増加】

② 長期欠席者のうち不登校生徒数 1,335人【平成30年度(1,316人)より19人増加】

不登校生徒の在籍率 3.43%【平成30年度(3.37%)より0.06ポイント増加】

(3) 理由別長期欠席者数および不登校生徒数(高等学校)

① 県立高等学校における長期欠席〈表(11)(12)〉

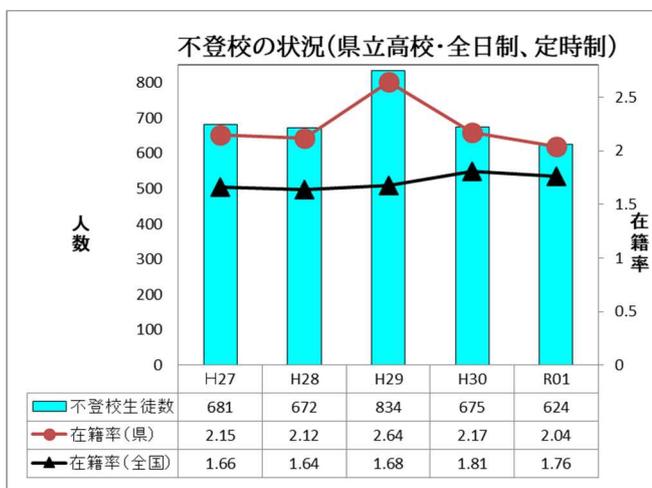
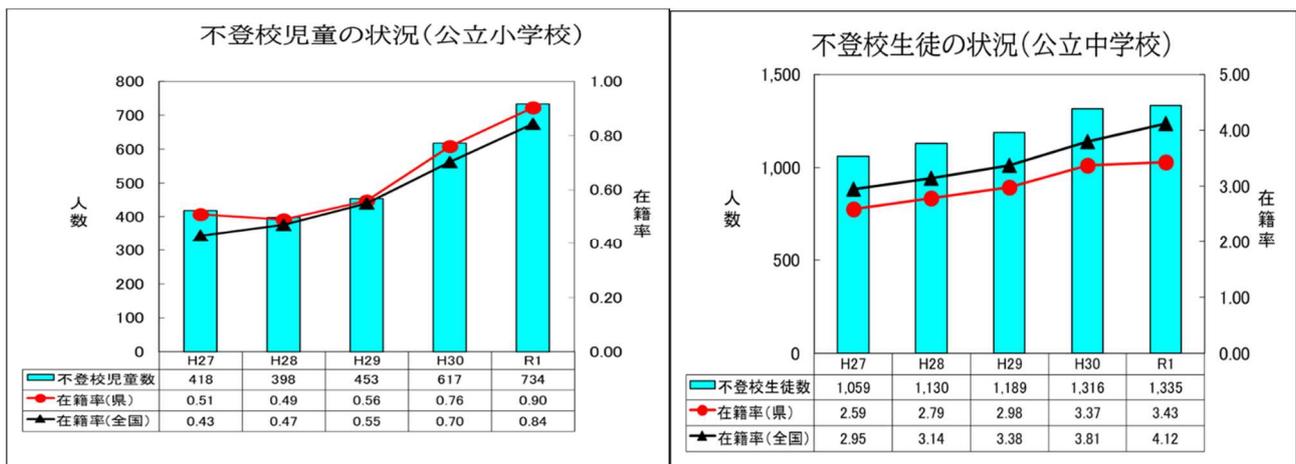
年間30日以上長期欠席者数 843人【平成30年度(895人)より52人減少】

② 長期欠席者のうち不登校生徒数 624人【平成30年度(675人)より51人減少】

不登校生徒の在籍率 2.04%【平成30年度(2.17%)より0.13ポイント減少】

(全日制の不登校生徒数 444人【平成30年度(445人)より1人減少】)

(定時制の不登校生徒数 180人【平成30年度(230人)より50人減少】)



(4) 不登校の要因

ア 公立小学校における不登校の要因〈表(13)〉

・不登校要因の主たるもので、「無気力、不安」が 307 人 (41.8%)、「親子の関わり方」が 139 人 (18.9%) を占める。

イ 公立中学校における不登校の要因〈表(14)〉

・不登校要因の主たるもので、「無気力、不安」が 544 人 (40.7%)、「いじめを除く友人関係をめぐる問題」が 253 人 (19.0%) を占める。

ウ 県立高等学校（全日制）における不登校の要因〈表(15)〉

・不登校要因の主たるもので、「無気力、不安」が 166 人 (37.4%)、「学業の不振」が 60 人 (13.5%) を占める。

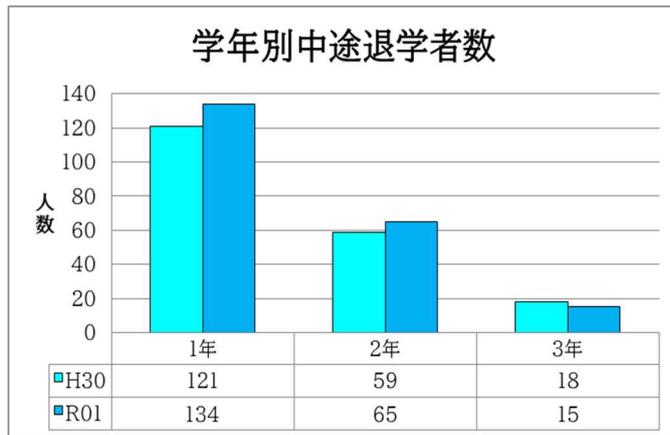
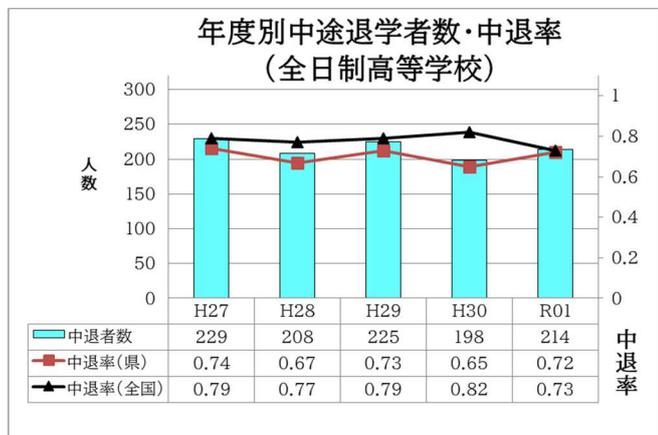
エ 県立高等学校（定時制）における不登校の要因〈表(16)〉

・不登校要因の主たるもので、「無気力、不安」が 79 人 (43.9%)、「生活リズムの乱れ、あそび、非行」が 33 人 (18.3%) を占める。

4. 県立高等学校における中途退学者数等の状況（全日制）

(1) 年度別・学年別中途退学者数・中途退学率〈表(17)〉

- ① 中途退学者数 214人 【平成30年度（198人）より16人増加】
- ② 中途退学率 0.72% 【平成30年度（0.65%）より0.07ポイント増加】
- ③ 1年生の中途退学者数 134人 【平成30年度（121人）より13人増加】
- ④ 2年生の中途退学者数 65人 【平成30年度（59人）より6人増加】
- ⑤ 3年生の中途退学者数 15人 【平成30年度（18人）より3人減少】



(2) 学科別中途退学者数・中途退学率〈表(18)〉

- ① 普通科の中途退学者数 138人 【平成30年度（143人）より5人減少】
普通科の中途退学率 0.67% 【平成30年度（0.69%）より0.02ポイント減少】
- ② 専門学科の中途退学者数 48人 【平成30年度（36人）より12人増加】
専門学科の中途退学率 0.84% 【平成30年度（0.62%）より0.22ポイント増加】
- ③ 総合学科の中途退学者数 28人 【平成30年度（19人）より9人増加】
総合学科の中途退学率 0.77% 【平成30年度（0.50%）より0.27ポイント増加】

(3) 学年別理由別中途退学者数〈表(19)〉

- ・最も多い理由「学校生活・学業不適応」
97人（45.3%） 【平成30年度（81人）より16人増加】
- ・次に多い理由「進路変更」
80人（37.4%） 【平成30年度（70人）より10人増加】

令和元年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題
に関する調査結果等の概要について(県内公立学校)

数 値 デ ー タ 資 料

1. 公立小学校、公立中学校および県立高等学校における暴力行為の状況
2. 公立小学校、公立中学校、県立高等学校および県立特別支援学校におけるいじめの状況
3. 公立小学校、公立中学校および県立高等学校における長期欠席の状況等
4. 県立高等学校における中途退学者数等の状況(全日制)

※義務教育学校については、前期課程を小学校に、後期課程を中学校に含んでいる。

滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課
生徒指導・いじめ対策支援室

1. 公立小学校、公立中学校および県立高等学校における暴力行為の状況

(1) 暴力行為の発生件数（滋賀県）

表(1)
(件)

滋賀県	合計	小学校	中学校	高等学校
平成27年度	641	145	429	67
平成28年度	695	175	446	74
平成29年度	912	373	453	86
平成30年度	830	451	338	41
令和元年度	936	472	376	88

※高等学校の通信制課程も含む。

(2) 学校種別の発生件数

表(2)

	小学校				中学校				高等学校			
	滋賀県		全国		滋賀県		全国		滋賀県		全国	
	件数 (件)	児童 1000人 あたりの 発生 件数	件数 (件)	児童 1000人 あたりの 発生 件数	件数 (件)	生徒 1000人 あたりの 発生 件数	件数 (件)	生徒 1000人 あたりの 発生 件数	件数 (件)	生徒 1000人 あたりの 発生 件数	件数 (件)	生徒 1000人 あたりの 発生 件数
平成27年度	145	1.8	16,835	2.6	429	10.5	31,878	10.0	67	2.1	4,593	2.0
平成28年度	175	2.1	22,240	3.5	446	11.0	28,908	9.2	74	2.3	4,498	1.9
平成29年度	373	4.6	27,696	4.4	453	11.4	27,511	8.9	86	2.7	4,408	1.9
平成30年度	451	5.5	35,910	5.7	338	8.7	28,062	9.3	41	1.3	4,945	2.2
令和元年度	472	5.8	42,548	6.8	376	9.7	27,120	9.1	88	2.8	4,564	2.1

(3)校種別・形態別の発生件数

(件) 表(3)

小学校	滋賀県					全国				
	対教師暴力	生徒間暴力	対人暴力	器物損壊	合計	対教師暴力	生徒間暴力	対人暴力	器物損壊	合計
平成27年度	38	79	3	25	145	2,910	11,168	316	2,441	16,835
平成28年度	70	81	0	24	175	3,584	15,334	312	3,010	22,240
平成29年度	130	166	3	74	373	4,640	19,346	344	3,366	27,696
平成30年度	131	239	3	78	451	5,359	26,034	460	4,057	35,910
令和元年度	144	262	0	66	472	6,445	31,203	294	4,606	42,548

(件)

中学校	滋賀県					全国				
	対教師暴力	生徒間暴力	対人暴力	器物損壊	合計	対教師暴力	生徒間暴力	対人暴力	器物損壊	合計
平成27年度	136	238	9	46	429	4,755	19,176	784	7,163	31,878
平成28年度	140	226	6	74	446	3,866	18,400	764	5,878	28,908
平成29年度	132	227	12	82	453	3,426	17,667	660	5,758	27,511
平成30年度	108	166	10	54	338	3,225	19,099	585	5,153	28,062
令和元年度	84	195	9	88	376	2,875	18,398	566	5,281	27,120

(件)

高等学校	滋賀県					全国				
	対教師暴力	生徒間暴力	対人暴力	器物損壊	合計	対教師暴力	生徒間暴力	対人暴力	器物損壊	合計
平成27年度	11	44	0	12	67	387	3,146	180	880	4,593
平成28年度	17	44	2	11	74	397	2,936	163	1,002	4,498
平成29年度	13	60	5	8	86	388	2,906	143	971	4,408
平成30年度	5	23	3	10	41	377	3,148	157	1,263	4,945
令和元年度	8	67	4	9	88	310	2,854	158	1,242	4,564

2. 公立小学校、公立中学校、県立高等学校および県立特別支援学校におけるいじめの状況

(1) 県内公立学校のおいじめの認知件数（滋賀県）

表(4)

(件)

滋賀県	合計	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
平成27年度	2,633	1,724	770	125	14
平成28年度	4,855	3,442	1,245	143	25
平成29年度	5,635	4,126	1,333	151	25
平成30年度	6,847	4,966	1,750	117	14
令和元年度	7,797	5,561	1,988	220	28

※平成25年度から高等学校の通信制課程も含む。

(2) 校種別いじめの認知件数・いじめを認知した学校数

表(5)

		滋賀県				全国			
		認知学校数 (校)	認知学校数 の割合 (%)	認知件数 (件)	児童生徒 1000人 あたりの 認知件数	認知学校数 (校)	認知学校数 の割合 (%)	認知件数 (件)	児童生徒 1000人 あたりの 認知件数
小学校	平成27年度	187	83.1	1,724	21.0	12,644	62.3	150,038	23.3
	平成28年度	205	91.1	3,442	42.2	14,175	70.8	233,668	36.7
	平成29年度	204	91.1	4,126	50.6	15,615	78.7	311,322	49.1
	平成30年度	212	95.5	4,966	60.8	16,960	86.2	421,116	66.5
	令和元年度	214	96.4	5,561	68.5	17,294	88.6	479,447	76.4
中学校	平成27年度	86	86.0	770	18.8	7,136	73.8	57,032	17.8
	平成28年度	92	92.0	1,245	30.7	7,557	78.7	68,291	21.7
	平成29年度	92	92.0	1,333	33.4	7,922	82.9	77,137	25.0
	平成30年度	95	95.0	1,750	44.8	8,361	87.7	93,921	31.2
	令和元年度	99	99.0	1,988	51.1	8,438	88.9	102,738	34.5
高等学校	平成27年度	42	76.4	125	3.8	2,258	54.2	9,724	4.2
	平成28年度	42	73.7	143	4.4	2,349	56.6	10,017	4.3
	平成29年度	48	87.3	151	4.7	2,539	61.5	11,212	4.9
	平成30年度	45	88.2	117	3.7	2,802	68.1	13,134	5.8
	令和元年度	51	100.0	220	7.0	2,860	69.6	13,918	6.3

特別支援学校

	滋賀県		全国	
	認知学校数 (校)	認知件数 (件)	認知学校数 (校)	認知件数 (件)
平成27年度	11	14	299	1,244
平成28年度	9	25	333	1,614
平成29年度	5	25	391	1,923
平成30年度	11	14	467	2,570
令和元年度	11	28	497	2,963

(3)いじめの態様

表(6)

※件数は複数回答が可能であり、構成比は各区分における総認知件数に対する割合である。

小学校	滋賀県				全国			
	30年度		元年度		30年度		元年度	
	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)
冷やかしからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	2,456	49.5	2,599	46.7	261,218	62.0	292,564	61.0
仲間はずれ、集団による無視をされる。	608	12.2	619	11.1	58,381	13.9	66,419	13.9
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	1,578	31.8	1,959	35.2	98,979	23.5	113,130	23.6
ひどくぶつかられたり叩かれたり、蹴られたりする。	322	6.5	305	5.5	24,458	5.8	27,181	5.7
金品をたかられる。	47	0.9	48	0.9	4,224	1.0	4,428	0.9
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	478	9.6	551	9.9	23,165	5.5	27,076	5.6
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	1,016	20.5	1,148	20.6	33,917	8.1	40,434	8.4
パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる。	75	1.5	104	1.9	4,561	1.1	5,533	1.2
その他	7	0.1	0	0.0	18,653	4.4	21,810	4.5
計	6,587	132.6	7,333	131.9	527,556	125.3	479,447	124.8

中学校	滋賀県				全国			
	30年度		元年度		30年度		元年度	
	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)
冷やかしからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	997	57.0	1,116	56.1	62,253	66.3	68,117	66.4
仲間はずれ、集団による無視をされる。	163	9.3	205	10.3	11,465	12.2	12,534	12.2
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	344	19.7	397	20.0	13,262	14.1	14,139	13.8
ひどくぶつかられたり叩かれたり、蹴られたりする。	107	6.1	144	7.2	4,261	4.5	4,613	4.5
金品をたかられる。	14	0.8	40	2.0	919	1.0	1,048	1.0
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	86	4.9	126	6.3	5,248	5.6	5,329	5.2
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	288	16.5	380	19.1	6,360	6.8	7,572	7.4
パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる。	167	9.5	198	10.0	7,638	8.1	8,155	7.9
その他	11	0.6	0	0.0	3,070	3.3	3,192	3.1
計	2,177	124.4	2,606	131.1	114,476	121.9	102,738	121.5

高等学校	滋賀県				全国			
	30年度		元年度		30年度		元年度	
	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)
冷やかしからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	69	59.0	129	58.6	8,168	62.2	8,559	61.5
仲間はずれ、集団による無視をされる。	20	17.1	29	13.2	1,945	14.8	2,197	15.8
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	21	17.9	25	11.4	1,319	10.0	1,288	9.3
ひどくぶつかられたり叩かれたり、蹴られたりする。	7	6.0	26	11.8	505	3.8	492	3.5
金品をたかられる。	2	1.7	10	4.5	286	2.2	376	2.7
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	5	4.3	10	4.5	610	4.6	719	5.2
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	16	13.7	28	12.7	787	6.0	993	7.1
パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる。	29	24.8	53	24.1	2,580	19.6	2,648	19.0
その他	0	0.0	0	0.0	694	5.3	665	4.8
計	169	144.4	310	140.9	16,894	128.5	13,918	128.9

特別支援学校	滋賀県				全国			
	30年度		元年度		30年度		元年度	
	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)
冷やかしからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	9	64.3	7	25.0	1,383	53.8	1,618	54.6
仲間はずれ、集団による無視をされる。	0	0.0	1	3.6	160	6.2	211	7.1
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	3	21.4	2	7.1	588	22.9	638	21.5
ひどくぶつかられたり叩かれたり、蹴られたりする。	2	14.3	6	21.4	161	6.3	210	7.1
金品をたかられる。	0	0.0	1	3.6	43	1.7	71	2.4
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	1	7.1	3	10.7	122	4.7	128	4.3
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	3	21.4	4	14.3	191	7.4	252	8.5
パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる。	1	7.1	6	21.4	210	8.2	243	8.2
その他	0	0.0	0	0.0	211	8.2	192	8.5
計	19	135.7	30	107.1	3,069	119.4	2,963	122.2

3. 公立小学校、公立中学校および県立高等学校における長期欠席の状況等

(1)①理由別長期欠席者数(小学校)

表(7)

		滋賀県					全 国				
		病気	経済的 理由	不登校	その他	計	病気	経済的 理由	不登校	その他	計
平成 29 年度	人 数(人)	203	0	453	339	995	21,222	9	34,732	15,842	71,805
	在籍率(%)	0.25	0.00	0.56	0.42	1.22	0.33	0.00	0.55	0.25	1.13
平成 30 年度	人 数(人)	233	0	617	325	1,175	23,076	14	44,471	15,695	83,256
	在籍率(%)	0.29	0.00	0.76	0.40	1.44	0.36	0.00	0.70	0.25	1.31
令和 元 年度	人 数(人)	267	0	734	285	1,286	22,954	11	52,905	16,346	92,216
	在籍率(%)	0.33	0.00	0.90	0.35	1.58	0.37	0.00	0.84	0.26	1.47

(1)②学年別不登校児童数(小学校)

表(8)

		滋賀県							全 国						
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体
平成 30 年度	人 数(人)	28	61	83	112	150	183	617	2,278	3,596	5,461	8,035	11,172	13,929	44,471
	在籍率(%)	0.21	0.45	0.61	0.81	1.10	1.33	0.76	0.22	0.34	0.52	0.75	1.04	1.30	0.70
令和 元 年度	人 数(人)	50	66	96	134	187	201	734	2,729	4,521	6,661	9,385	13,187	16,422	52,905
	在籍率(%)	0.38	0.49	0.71	0.99	1.36	1.47	0.90	0.27	0.44	0.64	0.89	1.24	1.53	0.84

(2)①理由別長期欠席者数(中学校)

表(9)

		滋賀県					全 国				
		病気	経済的 理由	不登校	その他	計	病気	経済的 理由	不登校	その他	計
平成 29 年度	人 数(人)	268	0	1,189	338	1,795	22,209	8	104,295	11,196	137,708
	在籍率(%)	0.67	0.00	2.98	0.85	4.50	0.72	0.00	3.38	0.36	4.47
平成 30 年度	人 数(人)	284	0	1,316	272	1,872	24,418	6	114,379	9,637	148,440
	在籍率(%)	0.73	0.00	3.37	0.70	4.80	0.81	0.00	3.81	0.32	4.94
令和 元 年度	人 数(人)	304	0	1,335	247	1,886	24,033	15	122,519	8,657	155,224
	在籍率(%)	0.78	0.00	3.43	0.64	4.85	0.81	0.00	4.12	0.29	5.22

(2)②学年別不登校生徒数(中学校)

表(10)

		滋賀県				全 国			
		1年	2年	3年	全体	1年	2年	3年	全体
平成 30 年度	人 数(人)	291	512	513	1,316	29,754	41,533	43,092	114,379
	在籍率(%)	2.30	3.92	3.86	3.37	3.07	4.13	4.18	3.81
令和 元 年度	人 数(人)	352	451	532	1,335	32,951	43,448	46,120	122,519
	在籍率(%)	2.68	3.55	4.07	3.43	3.31	4.47	4.58	4.12

(3)①理由別長期欠席者数(高等学校)

表(11)

		滋賀県					全 国				
		病 気	経済的 理由	不登校	その他	計	病 気	経済的 理由	不登校	その他	計
平成 27 年度	人 数 (人)	117	5	681	114	917	9,146	1,440	37,793	11,587	59,966
	在籍率(%)	0.37	0.02	2.15	0.36	2.89	0.40	0.06	1.66	0.51	2.64
平成 28 年度	人 数 (人)	91	1	672	150	914	9,136	1,137	37,049	12,651	59,973
	在籍率(%)	0.29	0.00	2.12	0.47	2.88	0.40	0.05	1.64	0.56	2.65
平成 29 年度	人 数 (人)	123	5	834	23	985	10,060	867	37,493	11,900	60,320
	在籍率(%)	0.39	0.02	2.64	0.07	3.12	0.45	0.04	1.68	0.53	2.70
平成 30 年度	人 数 (人)	196	3	675	21	895	10,051	643	39,623	9,728	60,045
	在籍率(%)	0.63	0.01	2.17	0.07	2.87	0.46	0.03	1.81	0.44	2.74
令和 元 年度	人 数 (人)	187	1	624	31	843	10,720	501	37,692	8,095	57,008
	在籍率(%)	0.61	0.00	2.04	0.10	2.76	0.50	0.02	1.76	0.38	2.66

(3)②課程別・学年別 不登校生徒数(高等学校)

表(12)

		滋賀県						全 国					
		1年	2年	3年	4年	単位制	全体	1年	2年	3年	4年	単位制	全体
平成 30 年度	全 日 制	145 (1.6)	141 (1.6)	108 (1.3)	/	51 (1.2)	445 (1.5)	7,791 (1.3)	7,512 (1.3)	5,416 (0.9)	/	5,108 (1.5)	25,827 (1.2)
	定 時 制	4 (22.2)	2 (8.3)	5 (18.5)	0 (0.0)	219 (33.2)	230 (30.7)	958 (12.6)	745 (10.5)	647 (10.2)	447 (8.7)	10,999 (19.5)	13,796 (16.7)
	計	149 (1.7)	143 (1.6)	113 (1.3)	0 (0.0)	270 (5.7)	675 (2.2)	8,749 (1.5)	8,257 (1.4)	6,063 (1.0)	447 (8.7)	16,107 (4.2)	39,623 (1.8)
令和 元 年度	全 日 制	155 (1.8)	116 (1.3)	109 (1.3)	/	64 (1.6)	444 (1.5)	7,346 (1.3)	7,002 (1.2)	5,766 (1.0)	/	4,821 (1.4)	24,935 (1.2)
	定 時 制	4 (16.0)	3 (25.0)	2 (9.1)	2 (9.1)	169 (27.3)	180 (25.7)	946 (14.0)	731 (11.6)	606 (9.6)	435 (9.6)	10,039 (18.2)	12,757 (16.1)
	計	159 (1.8)	119 (1.4)	111 (1.3)	2 (9.1)	233 (5.0)	624 (2.0)	8,292 (1.4)	7,733 (1.3)	6,372 (1.1)	435 (9.6)	14,860 (3.8)	37,692 (1.8)

※()内は全生徒数に占める不登校生徒数の割合(%)

※全日制の総合学科は単位制で集計している。

(4) 不登校の要因【小学校】

表(13)

区分		学校に係る状況								家庭に係る状況			本人に係る状況		左記に該当なし	
		いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動・部活動等への不適応	学校のきまり等をめぐる問題	入学、転編入学、進級時の不適応	家庭の生活環境の急激な変化	親子の関わり方	家庭内の不和	生活リズムの乱れ、あそび、非行	無気力、不安		
滋賀県	①主たるもの (一人1つ必ず選択)	人数(人)	1	56	20	19	0	0	8	17	27	139	17	90	307	33
	割合(%)	0.1	7.6	2.7	2.6	0.0	0.0	1.1	2.3	3.7	18.9	2.3	12.3	41.8	4.5	
滋賀県	②主たるもの以外にあてはまるもの (一人2つまで選択可)	人数(人)	1	38	11	111	4	0	8	5	21	166	21	109	143	0
	割合(%)	0.1	5.2	1.5	15.1	0.5	0.0	1.1	0.7	2.9	22.6	2.9	14.9	19.5	0.0	
全国	①主たるもの (一人1つ必ず選択)	人数(人)	217	5,366	1,281	2,287	167	32	592	1,124	1,922	8,839	914	5,452	21,782	2,930
	割合(%)	0.4	10.1	2.4	4.3	0.3	0.1	1.1	2.1	3.6	16.7	1.7	10.3	41.2	5.5	
全国	②主たるもの以外にあてはまるもの (一人2つまで選択可)	人数(人)	132	2,917	1,081	4,702	273	50	678	803	1,296	8,061	1,108	5,191	6,763	
	割合(%)	0.2	5.5	2.0	8.9	0.5	0.1	1.3	1.5	2.4	15.2	2.1	9.8	12.8		

不登校の要因【中学校】

表(14)

区分		学校に係る状況								家庭に係る状況			本人に係る状況		左記に該当なし	
		いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動・部活動等への不適応	学校のきまり等をめぐる問題	入学、転編入学、進級時の不適応	家庭の生活環境の急激な変化	親子の関わり方	家庭内の不和	生活リズムの乱れ、あそび、非行	無気力、不安		
滋賀県	①主たるもの (一人1つ必ず選択)	人数(人)	2	253	12	78	8	7	6	47	34	117	25	162	544	40
	割合(%)	0.1	19.0	0.9	5.8	0.6	0.5	0.4	3.5	2.5	8.8	1.9	12.1	40.7	3.0	
滋賀県	②主たるもの以外にあてはまるもの (一人2つまで選択可)	人数(人)	0	117	16	172	37	13	23	9	19	188	10	121	179	0
	割合(%)	0.0	8.8	1.2	12.9	2.8	1.0	1.7	0.7	1.4	14.1	0.7	9.1	13.4	0.0	
全国	①主たるもの (一人1つ必ず選択)	人数(人)	286	21,207	1,506	10,318	1,497	1,136	1,425	4,566	3,588	9,181	2,295	10,584	48,669	6,261
	割合(%)	0.2	17.3	1.2	8.4	1.2	0.9	1.2	3.7	2.9	7.5	1.9	8.6	39.7	5.1	
全国	②主たるもの以外にあてはまるもの (一人2つまで選択可)	人数(人)	240	7,259	1,369	11,835	2,647	1,511	1,655	2,445	2,118	9,683	2,163	6,582	12,436	
	割合(%)	0.2	5.9	1.1	9.7	2.2	1.2	1.4	2.0	1.7	7.9	1.8	5.4	10.2		

不登校の要因【高等学校 全日制】

表(15)

区分		学校に係る状況								家庭に係る状況			本人に係る状況		左記に該当なし	
		いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動・部活動等への不適応	学校のきまり等をめぐる問題	入学、転編入学、進級時の不適応	家庭の生活環境の急激な変化	親子の関わり方	家庭内の不和	生活リズムの乱れ、あそび、非行	無気力、不安		
滋賀県	①主たるもの (一人1つ必ず選択)	人数(人)	0	39	1	60	15	5	9	41	13	16	10	58	166	11
		割合(%)	0.0	8.8	0.2	13.5	3.4	1.1	2.0	9.2	2.9	3.6	2.3	13.1	37.4	2.5
	②主たるもの以外にあてはまるもの (一人2つまで選択可)	人数(人)	2	14	1	37	8	5	9	17	4	31	10	26	35	3
		割合(%)	0.5	3.2	0.2	8.3	1.8	1.1	2.0	3.8	0.9	7.0	2.3	5.9	7.9	0.7
全国	①主たるもの (一人1つ必ず選択)	人数(人)	74	3,409	139	2,090	1,518	246	365	2,127	455	947	445	3,257	8,119	1,744
		割合(%)	0.3	13.7	0.6	8.4	6.1	1.0	1.5	8.5	1.8	3.8	1.8	13.1	32.6	7.0
	②主たるもの以外にあてはまるもの (一人2つまで選択可)	人数(人)	19	713	119	1,312	761	230	267	567	220	971	368	1,002	1,658	
		割合(%)	0.1	2.9	0.5	5.3	3.1	0.9	1.1	2.3	0.9	3.9	1.5	4.0	6.6	

不登校の要因【高等学校 定時制】

表(16)

区分		学校に係る状況								家庭に係る状況			本人に係る状況		左記に該当なし	
		いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動・部活動等への不適応	学校のきまり等をめぐる問題	入学、転編入学、進級時の不適応	家庭の生活環境の急激な変化	親子の関わり方	家庭内の不和	生活リズムの乱れ、あそび、非行	無気力、不安		
滋賀県	①主たるもの (一人1つ必ず選択)	人数(人)	0	7	1	3	1	0	17	6	13	5	0	33	79	15
		割合(%)	0.0	3.9	0.6	1.7	0.6	0.0	9.4	3.3	7.2	2.8	0.0	18.3	43.9	8.3
	②主たるもの以外にあてはまるもの (一人2つまで選択可)	人数(人)	0	3	2	0	0	1	0	5	2	6	2	3	37	0
		割合(%)	0.0	1.7	1.1	0.0	0.0	0.6	0.0	2.8	1.1	3.3	1.1	1.7	20.6	0.0
全国	①主たるもの (一人1つ必ず選択)	人数(人)	7	808	44	624	266	14	130	822	294	300	210	2,667	4,844	1,727
		割合(%)	0.1	6.3	0.3	4.9	2.1	0.1	1.0	6.4	2.3	2.4	1.6	20.9	38.0	13.5
	②主たるもの以外にあてはまるもの (一人2つまで選択可)	人数(人)	1	430	48	460	180	23	90	376	123	342	185	456	738	
		割合(%)	0.0	3.4	0.4	3.6	1.4	0.2	0.7	2.9	1.0	2.7	1.5	3.6	5.8	

4. 県立高等学校における中途退学者数等の状況(全日制)

(1) 年度別・学年別中途退学者数・中途退学率 (滋賀県)

表(17)

	1年(人)	2年(人)	3年(人)	計(人)	在籍者数(人)	県中途退学率(%)	全国中途退学率(%)
平成27年度	150	63	16	229	30,878	0.74	0.79
平成28年度	124	63	21	208	30,900	0.67	0.77
平成29年度	140	65	20	225	30,765	0.73	0.79
平成30年度	121	59	18	198	30,403	0.65	0.82
令和元年度	134	65	15	214	29,891	0.72	0.73

(2) 学科別中途退学者数・中途退学率 (滋賀県)

表(18)

		普通	専門	総合	計
平成27年度	中途退学者(人)	137	54	38	229
	在籍者(人)	21,375	6,114	3,389	30,878
	中途退学率(%)	0.64	0.88	1.12	0.74
平成28年度	中途退学者(人)	133	36	39	208
	在籍者(人)	21,310	5,927	3,663	30,900
	中途退学率(%)	0.62	0.61	1.06	0.67
平成29年度	中途退学者(人)	157	37	31	225
	在籍者(人)	21,155	5,853	3,757	30,765
	中途退学率(%)	0.74	0.63	0.83	0.73
平成30年度	中途退学者(人)	143	36	19	198
	在籍者(人)	20,848	5,778	3,777	30,403
	中途退学率(%)	0.69	0.62	0.50	0.65
令和元年度	中途退学者(人)	138	48	28	214
	在籍者(人)	20,546	5,695	3,650	29,891
	中途退学率(%)	0.67	0.84	0.77	0.72

※専門学科とは、農業・工業・商業・家庭・その他の学科を指している。

(3) 学年別理由別中途退学者数<文部科学省調査項目による分類> (滋賀県)

表(19)

理由	学業不振	学校生活・学業不適応					進路変更					病気・けが・死亡	経済的理由	家庭の事情	問題行動等	その他の理由	合計	
		にもともと熱意がな	いとも高くない	学校生活	授業に興味がない	人間関係が保てない	学校の雰囲気	その他	別の高校への希望	入学を希望	専修各種学校への希望							就職を希望
平成30年度	1年(人)	19	34	4	7	3	3	22	0	15	3	4	4	0	1	1	1	121
	2年(人)	5	14	2	6	4	0	4	1	11	3	1	1	0	5	2	0	59
	3年(人)	4	2	0	2	0	0	0	1	1	3	1	0	0	3	0	1	18
	計(人)	28	50	6	15	7	3	26	2	27	9	6	5	0	9	3	2	198
令和元年度	割合(%)	14.1	25.3	3.0	7.6	3.5	1.5	13.1	1.0	13.6	4.5	3.0	2.5	0.0	4.5	1.5	1.0	100
			40.9					35.4										
令和元年度	1年(人)	9	32	9	15	13	4	19	0	15	5	0	5	0	4	4	0	134
	2年(人)	6	8	5	4	1	5	3	0	19	3	6	1	0	3	1	0	65
	3年(人)	1	0	0	1	0	0	0	0	5	3	2	3	0	0	0	0	15
	計(人)	16	40	14	20	14	9	22	0	39	11	8	9	0	7	5	0	214
令和元年度	割合(%)	7.5	18.7	6.5	9.3	6.5	4.2	10.3	0.0	18.2	5.1	3.7	4.2	0.0	3.3	2.3	0	100
			45.3					37.4										